

戦争法案反対 18大学に

共同の集会や声明

学生と教職員に広がる

違憲の戦争法案を廃案にするために、学生と学者・教職員の共同の運動が広がっています。東京大学と京都大学で学生と教職員有志が学内集会を開催。安倍内閣が衆院で強行採決したあと、その勢いはますます大きくなっています。教職員有志（一部で学生を含む）が法案反対の声明を発表した大学は18におよんでいます（20日現在）。

（若林明）

明治学院大で「語る会」5回

明治学院大学（東京）で、声明にはすでに242人は教職員有志と学生が戦争法案への対応を連続的に話し合っています。教職員有志が出した戦争法案反対の

2016 7月20日・特報

出さきっかけについて「直接的には、大学の同僚の提案です。和光大学教職員有志が6月23日に声明を発表したこともきっかけとなったと思います」といいます。発表後「声明」を語る会」が企画されました。学生などの質問に答え、新しい課題を見いだすことを目指す。戦争法案の衆院委員会採決が強行された15日に開かれた「語る会」。学生から「強行採決後、どうするか」と質問された高原孝生同大教授は、「もちろん強行採決はとんでもないことですが、まだまだこれからです。憲法違反の法律は無効です。各地の大学でも反対集会が広がっています」と述べました。

（一部で学生との共同を含む）

- 札幌学院大学
 - 茨城大学
 - 国際基督教大学
 - 東京大学
 - 東京学芸大学
 - 東京農工大学
 - 明治学院大学
 - 和光大学
 - 早稲田大学
 - 獨協大学
 - 日本福祉大学
 - 長野大学
 - 京都大学
 - 同志社大学
 - 立命館大学
 - 島根大学
 - 山口大学
 - 西南学院大学
- （7月20日現在）

教職員有志で戦争法案に反対する声明を出した大学

島根大学では21日に学内集会所が開かれ、九州大学でも30日に学内シンポジウムが予定されています。

（3面）

7/23 五・換

戦争法案ノー 学生と教員がスクラム



学生、教職員などが参加して熱気に包まれた京都大学でのシンポジウム=14日 (撮影・前田美咲)

知性に学び運動広げ

学問は、権力の下僕ではない

京大有志の会の声明文

戦争は、防衛を名目に始まる。
戦争は、兵器産業に富をもたらす。
戦争は、すぐに制御が効かなくなる。

戦争は、始めるよりも終えるほうが難しい。
戦争は、兵士だけでなく、老人や子どもにも災いをもたらす。
戦争は、人々の四肢だけでなく、心の中にも深い傷を負わせる。

精神は、操作の対象物ではない。
生命は、誰かの持ち駒ではない。

海は、基地に押しつぶされてはならない。
空は、戦闘機の爆音に消されてはならない。

血を流すことを貢献と考える普通の国よりは、
知を生み出すことを誇る特殊な国に生きたい。

学問は、戦争の武器ではない。
学問は、商売の道具ではない。
学問は、権力の下僕ではない。

生きる場所と考える自由を守り、創るために、
私たちはまず、思い上がった権力にくさびを
打ちこまなくてはならない。

変化を指摘します。開催をきめてから2週間、会議を1回、リハーサルを1回行っただけです。学生を中心にインターネットのツイッターやラインなどを使い集会を知らせていきました。市野川さんは「呼びかけ人になった学生たちの覚悟には胸を打たれました。安保関連法案に反対する学者や弁護士など多様な運動の広がり、反対は多数派だという自信を彼らに持たせたのでしょ」と言っています。

呼びかけ人の一人の市野川容孝(京大教授)は「安保関連法案に反対する学者の会」の結成をきっかけに、教員の取り組みを喚び、

学生発案 東大で緊急集会

「今日、学生たちがこういうふうな大盛況の会を開いてくれたことに大変感謝している」(間宮陽介京大大学名誉教授、東京大学)

討している6月末に、学生から法案に反対する集会をやりたいという打診がありました。集会は学生が主導して、教職員がそこに加わ

京大シンポに600人が参加

14日夕方から京都大学(吉田キャンパス)で開催された戦争法案の廃案を求める「7・14 緊急シンポジウム」には、大教員いっ

予想をこえて多くの人々が参加しました。学生・教職員共同のアピールへの賛同者は3週間前600人を超え、急遽な

知性に学びながら運動を広げていきたい」と話します。和服姿でシンポジウムの司会をした高山佳奈子京大教授は今後の活動について「学生も参加した発起人で『自由と平和のための京大有志の会』がすでに2日に立ち上がっています。その

声明文(別項)に京大人の洞察が凝縮されています。声明文はインターネットで話題になり、北海道や東京の集会で読み上げられています」と紹介しています。塩田さんは「この社会に生きる一人ひとりが行動し、今の政治にかかっていると声をあげていかないとけない。それが、安保法制を止めて、安倍政権、自民党の暴走した政治を止めていくことにならね」といいます。

と、24年間教員として東大に勤めてきた。このようなかもたれたことに感動している(佐藤孝京大名誉教授、と学生の活動をたたえた)「安保法案、東大大学人懇話会(10日)駒場キャンパス。会場からあふれる300人の参加者で成功しました。」

市野川さんは「集会には予想をこえて多くの人々が参加しました。学生・教職員共同のアピールへの賛同者は3週間前600人を超え、急遽な